

Sun* オフショア開発

品質とクライアントとの共創にこだわった
Sun*のアジャイルなオフショア開発

Agenda

1.	会社紹介	3
2.	Sun* オフショアチームの特徴	8
3.	Sun* オフショア開発の提供価値	20
4.	コミュニケーション	22
5.	プロダクト品質	26
6.	開発プロセス品質	32
7.	人材・体制	38
8.	事例・実績	44
9.	Q&A	53

1. 会社紹介



MAKE AWESOME THINGS THAT MATTER

Our Vision

誰もが価値創造に 夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom
to make awesome things that matter.

社名に含まれる「Sun」はまさに「太陽」。地球上のすべての生命を育むインフラです。革新的なサービスや、新しいイノベーションの「種」を、私たちの光で照らし、それらを育む最強のインフラになることを目指しています。

Sun*が価値創造するためのインフラとなることで、全人類が生まれた時から持っているクリエイティブへの情熱を呼び起こし「誰もが価値創造に夢中になれる世界」を実現させます。

Our Mission

本気で課題に挑む人たちと事業を通して社会に ポジティブなアップデートを仕掛けていくこと

Create radical products and businesses with
people who actually care about what they do.

* (Asterisk) は、多くのプログラミング言語で掛け算を表す記号です。

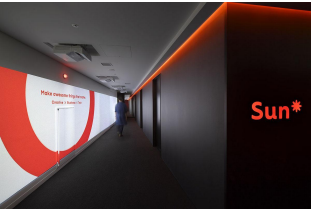
スタートアップや大企業の垣根を超え、価値創造に最適なチームを編成し、本気で社会課題に挑むヒト・モノ・コトとのコラボレーションを通じて、様々な産業のデジタルイノベーションを促進することで、社会にポジティブなアップデートを仕掛けていきます。

会社概要

社名	株式会社Sun Asterisk 英語社名 Sun* Inc.
設立日	2013年3月1日
従業員数	約2,080名 グループ全体
関連会社	Sun Asterisk : 370+ Sun Asterisk Vietnam : 1,425+ Sun terras : 95+ NEWh : 20+ Trys : 110+ 2024年3月末時点

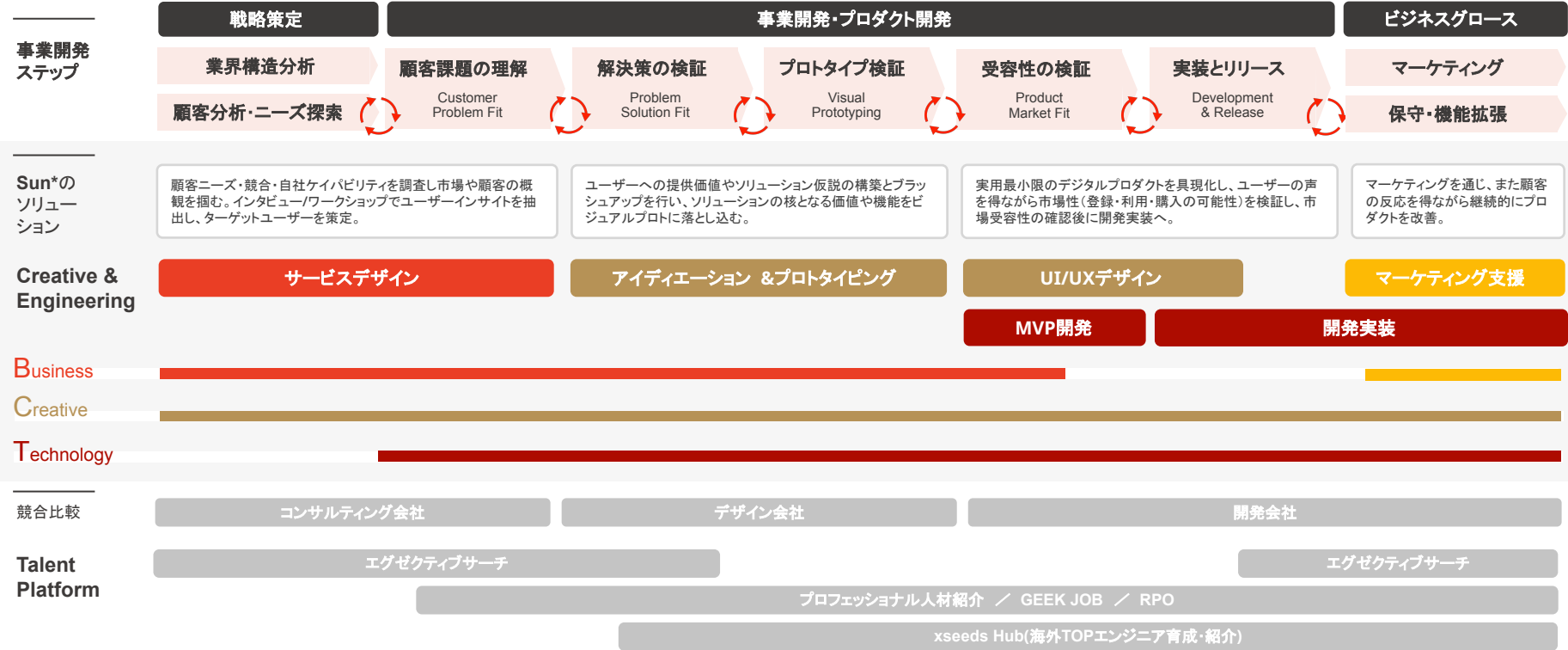
本社所在地	東京都千代田区大手町
事業内容	デジタル・クリエイティブスタジオ事業 4ヶ国6都市に拠点※
資本金等	33億9,419万円 資本準備金含む
売上	125.1億円 2023年12月期実績
上場区分	東京証券取引所 プライム市場 証券コード：4053

※日本（東京）ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）＋パートナー拠点 フィリピン（セブ）、カンボジア（プノンペン）



一般的な事業開発プロセスとSun*の主要ソリューション

一連のプロセスを一気通貫で並走し、リリース後も事業成長を継続的に支援するのがSun*のスタジオモデル



Business, Creative, Technology 3つの視点によるクライアントとの事業共創

多様なバックグラウンドを持つプロフェSSIONナルが多数在籍



プロフェSSIONナル

ビジネスコンサルタント

事業開発ディレクター

ビジネスデザイナー

UI/UX デザイナー

UIプランナー

アートディレクター

CTO

プロジェクトマネージャー

フルスタックエンジニア

豊富な実績から蓄積された事業創造に必要な手法・ノウハウ



手法・ノウハウ

デザイン思考

リーンスタートアップ

ユーザー中心設計

アジャイル

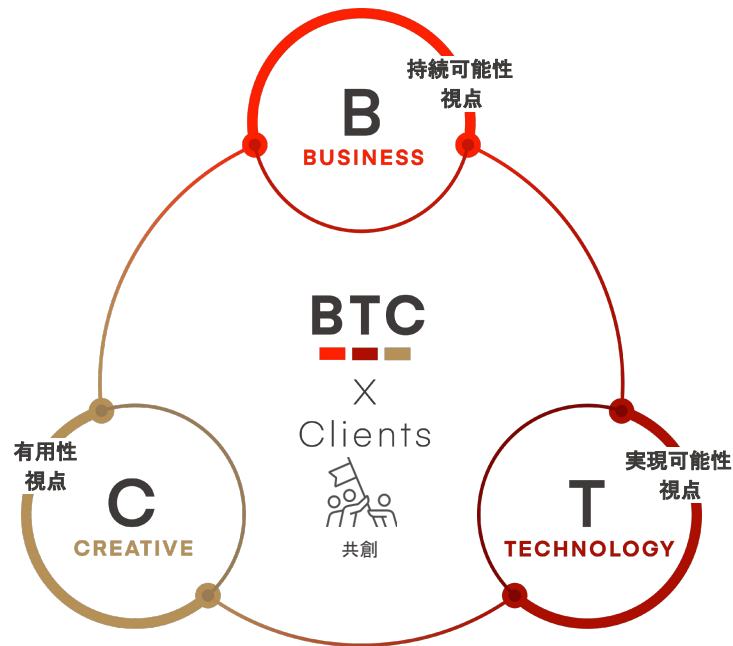
DevOps

CI/CD

AI

Blockchain

NFT



2. Sun* オフショアチームの特徴

Sun* オフショアチームの強み

1

豊富な開発実績

2

スタートアップの
熱量を持って
開発に取り組む文化

3

大規模な開発組織

4

ベトナムにおける
Sun*ブランドの強さ

5

対応可能な
言語の広さ

6

圧倒的な技術力

豊富な開発実績

クライアント数

500

プロダクト数

850



MeeTruck（ミートラック）
ソフトバンク／MeeTruck



膝栗毛（HIZAKURIGE）
三菱地所



楽曲管理システム KENDRIX
JASRAC



日産レンタカー公式アプリ
日産カーレンタルソリューション



elgana（エルガナ）
NTTビジネスソリューションズ



sumgoo（スムグー）
パナソニック



GLP ALFALINK 公式アプリ
日本GLP／モノフル



「雲の宇宙船」に関連した基幹システム
日本瓦斯（ニチガス）



BOTCHAN（ポッチャン） AI
wevnal



公式オンラインストア
シロカ



音声プラットフォーム
Voicy



クラシル
dely



指輪型決済端末
EVERING



北欧、暮らしの道具店
クラシコム



netkeiba
ネットドリーマーズ

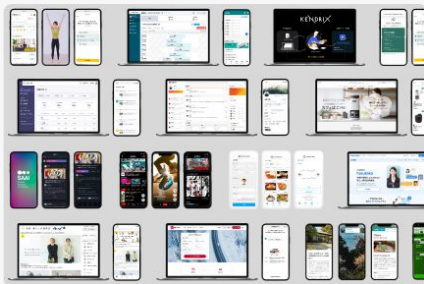
スタートアップの熱量を持って開発に取り組む文化

スタートアップの0→1開発を 強みとした開発スタイル



2012年ベトナムで創業したSun*は、若くてパワフルな人材たちと共に東南アジアのベンチャービルダー目指すところからスタート。そこから日本のスタートアップの新規事業開発支援にシフトしていき、現在のSun*があります。

10年以上に渡る 価値創造の支援実績



日本国内のスタートアップの0→1開発を中心に、業界・規模を問わず数多くの価値創造に伴走。社会や事業の変化に素早く対応しながら、高い技術力と品質で、開発支援を行い続けています。

スタートアップのCTO、 事業開発経験者が数多く在籍



Sun*には「CTOs」と呼ばれるスタートアップでCTOを歴任してきたメンバーが複数人在籍。また、スタートアップの事業開発責任者もいるため、経営とプロダクト開発を紐付けながら、クライアントの事業づくりに伴走しています。

大規模な開発組織

開発に携わるメンバー

1,200名以上

主な活動拠点

- 日本
- ベトナム
- フィリピン

エンジニア 1,000名+ (日本120名、ベトナム1,000名、フィリピン50名)

BrSE
(Bridge Software Engineer)

Frontend
Engineer

Server-side
Engineer

NativeApp
Engineer

QA

Infrastructure
Engineer

CTOs

Fullstack
Engineer

PM (Project Management)

100名+

R&D 50名+

Cyber Security

Data Science

AI

DevOps and
Site Reliability
Engineering

デザイナー 100名+ (日本70名、ベトナム20名)

サービス
デザイン

ブランド構築

Web
マーケティング

グラフィック
デザイン

Webデザイン・制作
(LP・バナー制作)

UI/UX
デザイン

2024年4月末時点

ベトナムにおけるSun*ブランドの強さ

産学連携による 価値創造人材育成



JICAが展開してきた高度IT人材育成事業を2014年から継承。4カ国12大学で、Sun*のノウハウを凝縮したIT教育プログラムを展開。常に母集団を強化し続けています。

他社よりも高い採用基準により 優秀な人材が入社



テクニカルスキルはもちろん、コミュニケーションやマインドセットなどのソフトスキルも採用時に評価。そのため他社よりもグレードの高い人材を採用できており、入社後も活躍している人が多いことが特徴です。

ベトナム最大のナレッジ共有 プラットフォームの運営



Qiitaのアジア版と言える、ベトナム人エンジニアコミュニティのためのIT知識学習・共有のための最大のプラットフォーム「Viblo」を構築・運営。現在、約35,000の記事が公開され、月間約300万PVを獲得しています。

対応可能な言語の広さ

Web and mobile development

Back-end development	Mobile app development
Ruby	Swift
PHP	Kotlin
Python	Flutter (Dart)
TypeScript	React Native
Go	Unity (C#)
Kotlin	
Java	
Rust	
Front-end development	Infrastructure set up
React.js	Microsoft Azure
Vue.js	AWS
Angular	Google Cloud Platform
JavaScript	Cloudflare
HTML/CSS	,Heroku

Data Science & AI

Machine learning	Big Data Engineering
Python	Kafka
C++	Solr/Lucene
Pandas	ElasticSearch
Numpy	
Matlab	Deep Learning/Advanced Analytics
一般化線形モデル	XGBoost
マルコフ過程モンテカルロ法	Image Processing
階層ベイズ	Audio & Video Processing
Database	Theano
PostgreSQL	Keras
MySQL	
NoSQL	

2024年4月末時点

圧倒的な技術力（取得している認定資格）

アジャイル開発の推進をサポートする プロフェッショナルチーム



21 PMI Agile Certified
Practitioner (PMI-ACP)



44 Professional Scrum
Master I



44 ICAgile Certified
Professional (ICP)
81 ICAgile Certified
Fundamental

圧倒的な技術力（取得している認定資格）

AWS認定資格



AWS Certified Database
- Specialty



AWS Certified Solutions
Architect - Associate



AWS Certified
Developer - Associate



AWS Certified Solutions
Architect - Professional



AWS Certified DevOps
Engineer - Professional

Kubernetes 認定資格



Certified Kubernetes
Application Developer
(CKAD)



Certified Kubernetes
Administrator (CKA)

圧倒的な技術力（取得している認定資格）

Azure認定資格 (マイクロソフト社の認定資格試験)



AZ-104 (Azure Administrator Associate)



Azure Fundamentals



Azure AI Engineer Associate



Azure Solution Architect Expert (AZ-305)



Azure Data Scientist Associate



AZ-700 Designing and Implementing Microsoft Azure Networking Solutions



Azure Enterprise Data Analyst Associate

Google Cloud 認定資格



Associate Cloud Engineer

Professional Cloud Architect

圧倒的な技術力（取得している認定資格）

高いセキュリティ基準を クリアする開発品質



ISTQBの取得

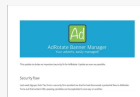


ISOの取得

サイバーセキュリティチーム



Received Thank you Letter from Harvard University

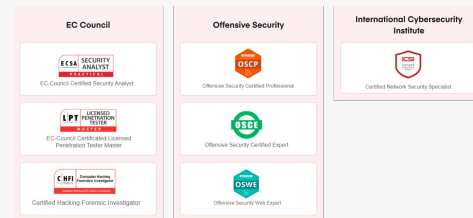


Third-party vendor publishes advisory on security vulnerabilities discovered by team members
<https://exploit.solutions/blog/advisory-5-8-4-security-update/>



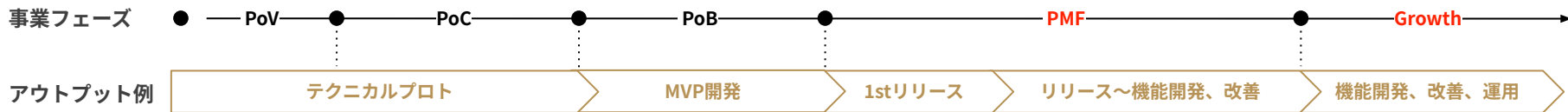
Found a Vulnerability in Cisco Webex Meetings which then reported in CVE-2023-1351 and fixed in the 2023/03/17 update
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/webex/webex-meetings/1644007.html>

約60のCVEs（脆弱性とインシデント）を公開。
10以上のサイバーセキュリティ関連論文、20以上の脆弱性情報をExploit DBに公開。
複数のゼロデイ攻撃への脆弱性を発見し、グローバルベンダーに報告した実績を持つ。



サイバーセキュリティ分野で世界レベルの資格を多数取得。

事業アイデアの価値検証を行うプロトタイピングから、技術的検証も含めたMVP開発、
1stリリース後のDevOpsサイクル全体での継続的なプロダクトグロースまでご支援



新規のプロダクト開発や機能実装において、
つくる→検証するのサイクルを
クイックに回しながらプロダクト開発を推進する

こんな企業におすすめ

- PoCを進めたい
- 新規プロダクト開発を行いたい
- リリーススケジュールが迫っている

Quick*Proto
プロトタイピングに
特化したメニュー

MVP開発

事業フェーズに最適な
スキルセット・人材を入れた開発体制をつくり
プロダクトグロースを進める

こんな企業におすすめ

- 開発速度を上げるために、スポットで開発人員を増やしたい
- 開発方針の変更など、柔軟に対応できるチームを作りたい
- エンジニア採用が難航している
- 保守運用を外部企業にお願いしたいと考えている
- ベンダースイッチを考えている

3. Sun* オフショア開発の提供価値

オフショア開発を検討するにあたり、このような悩み・不安はありませんか？



*BrSE : Bridge Software Engineer。日本の開発チームとベトナムの開発チームの間に立ち、主に情報の伝達、コミュニケーションのサポート、仕様書翻訳、仕様設計、開発管理まで担当。

4. コミュニケーション

プロジェクト経験豊富なBrSEが、チームのハブとなりプロジェクトを推進

Sun*のBrSE

BrSE（Bridge Software Engineer）は、日本の開発チームとベトナムの開発チームの間に立つ役割を果たします。主に情報の伝達、コミュニケーションのサポート、仕様書翻訳、仕様設計、そして開発管理まで担当します。**日本語検定N2以上**の資格を持ち、日本語での円滑なコミュニケーションが可能です。



口頭コミュニケーションについて

Sun*のBrSE（Bridge Software Engineer）は、豊富なプロジェクト経験の中で、顧客と直接多くのコミュニケーションをとってきたことが特徴です。

傾聴する力

経験してきた業界・事業フェーズが様々だからこそ、日本特有のコンテキストを理解しながらプロジェクトを推進します。

また日本在籍のベトナム人メンバーがいるため、対面でのコミュニケーションも可能です。

質問する力

議論を深める力を持つことで、プロジェクトの課題や要件をより詳しく理解し、チーム全体の意識を統一します。さらに、質問を通じて知識の共有を促進し、チーム全体のパフォーマンスを向上させます。

説明する力

BrSEはプロジェクトの進捗報告、質疑応答、開発チームへの要求や仕様の情報伝達などにおいて説明責任を持ち、日々の業務を行っています。日本語でのコミュニケーションの機会が豊富であるだけでなく、グラフやワークフロー図などの様々な情報伝達手段を用いることも特徴です。

よりスムーズなコミュニケーション複雑性の高いコミュニケーションを円滑にするために、Sun*Japanのメンバーがプロジェクトチームに参加することができます。

Sun*主導の開発におけるコミュニケーション機会

開発プロセスの中で、課題の吸い上げと改善を意識したコミュニケーションの場を設計しています。



貴社の開発にSun*が加わる場合のコミュニケーション機会

開発プロセスやルールなど、貴社に合わせて対応。開発チームが軌道に乗る間、アカウント担当者や日本側に所属するメンバーが伴走いたします。

Client

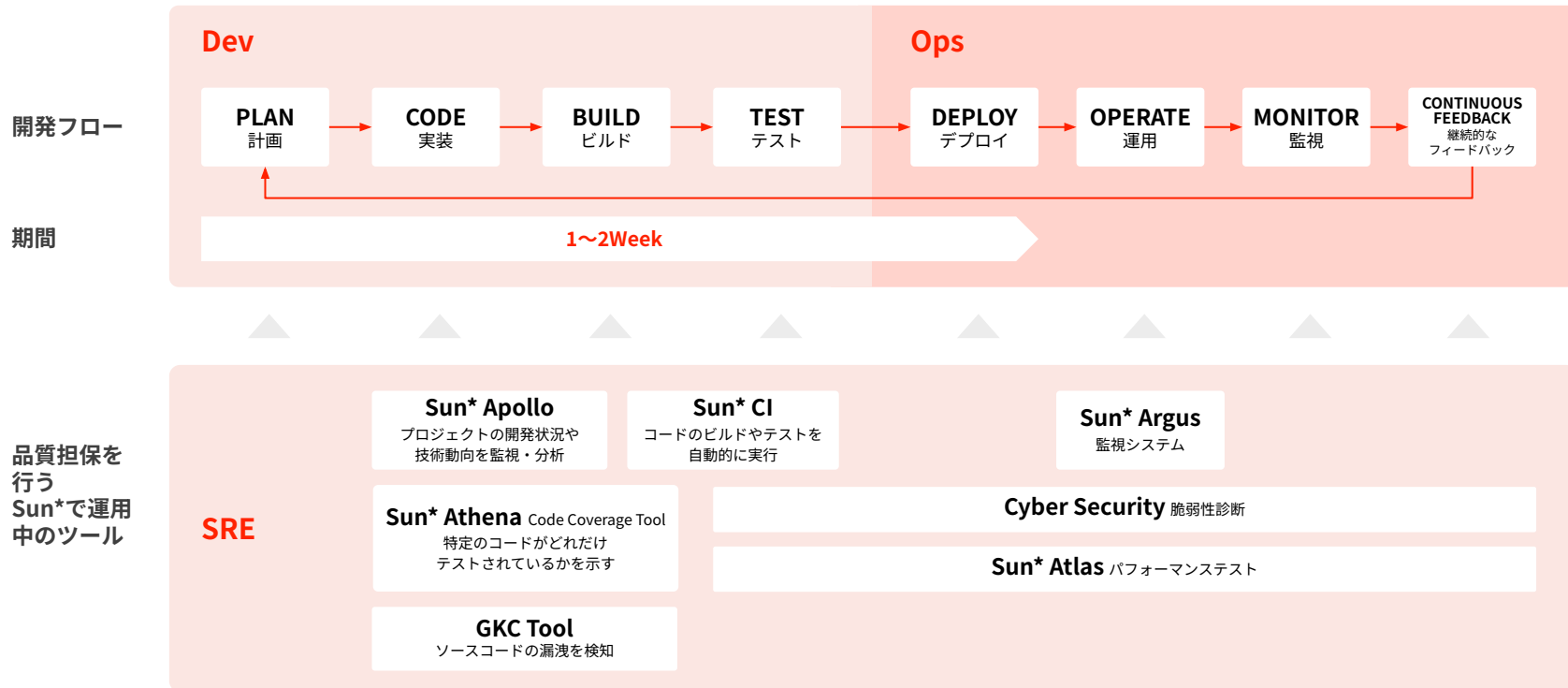
Sun Asterisk

プロジェクト開始時		プロジェクト期間									
キックオフ		スプリント（貴社の開発プロセスに合わせた開発を進める）			スプリント ●●● スプリント						
●キックオフ ○ チームメンバーの紹介 ○ 開発プロセス・環境の共有 ○ 事業状況の共有 など		●DailyMTG ○ 進捗確認 ○ 課題抽出 ○ 対処法の検討	●仕様確認、開発 ○ 社内関係部署とのコミュニケーション ○ Sun*からの質問に回答	●レビュー ●受け入れテスト	●月次振り返りへの参加 ●Sun*へのフィードバック						
バックログの管理について ケース①同じツール内でプロジェクト管理 エピック、ストーリー、タスク全てを同じツール上で行い、タスクレベルで共有しながら進めるケース。		ケース②詳細なタスクは Sun*社内で管理 エピック、ストーリーレベルの管理はクライアントサイドのツール上でおこない、詳細なタスクはSun*社内で管理するケース。			<table><tr><td>エピック</td><td>エンドユーザーの要望に基づいて、複数のタスクやストーリーをグループ分けしたもの</td></tr><tr><td>ストーリー</td><td>エンドユーザーに届けたい価値を機能・作業単位でまとめたもの</td></tr><tr><td>タスク</td><td>開発メンバーが行う個別の作業・ToDo項目</td></tr></table>	エピック	エンドユーザーの要望に基づいて、複数のタスクやストーリーをグループ分けしたもの	ストーリー	エンドユーザーに届けたい価値を機能・作業単位でまとめたもの	タスク	開発メンバーが行う個別の作業・ToDo項目
エピック	エンドユーザーの要望に基づいて、複数のタスクやストーリーをグループ分けしたもの										
ストーリー	エンドユーザーに届けたい価値を機能・作業単位でまとめたもの										
タスク	開発メンバーが行う個別の作業・ToDo項目										
アカウント担当、PM ●キックオフへの参加		●各種MTGに参加し、課題の把握と対応 ●コミュニケーションサポート			●月次振り返り ○ 社内状況報告(KPTなど) ○ クライアントが感じている課題のヒアリング（プロセス、コミュニケーション、アサインなど） ○ 解決策の提案						
エンジニア ●キックオフ ●開発環境のセットアップ ●開発プロセス、ルールのキャッチアップ		●DailyMTG ○ 進捗報告 ○ 課題報告 ○ 対処法の検討	●仕様確認、開発	●WeeklyMTG ○ 作業完了報告 ○ 進捗報告 ○ 課題報告 ○ 対処法の検討/提案	●レビュー依頼 ●テスト依頼						

5. プロダクト品質

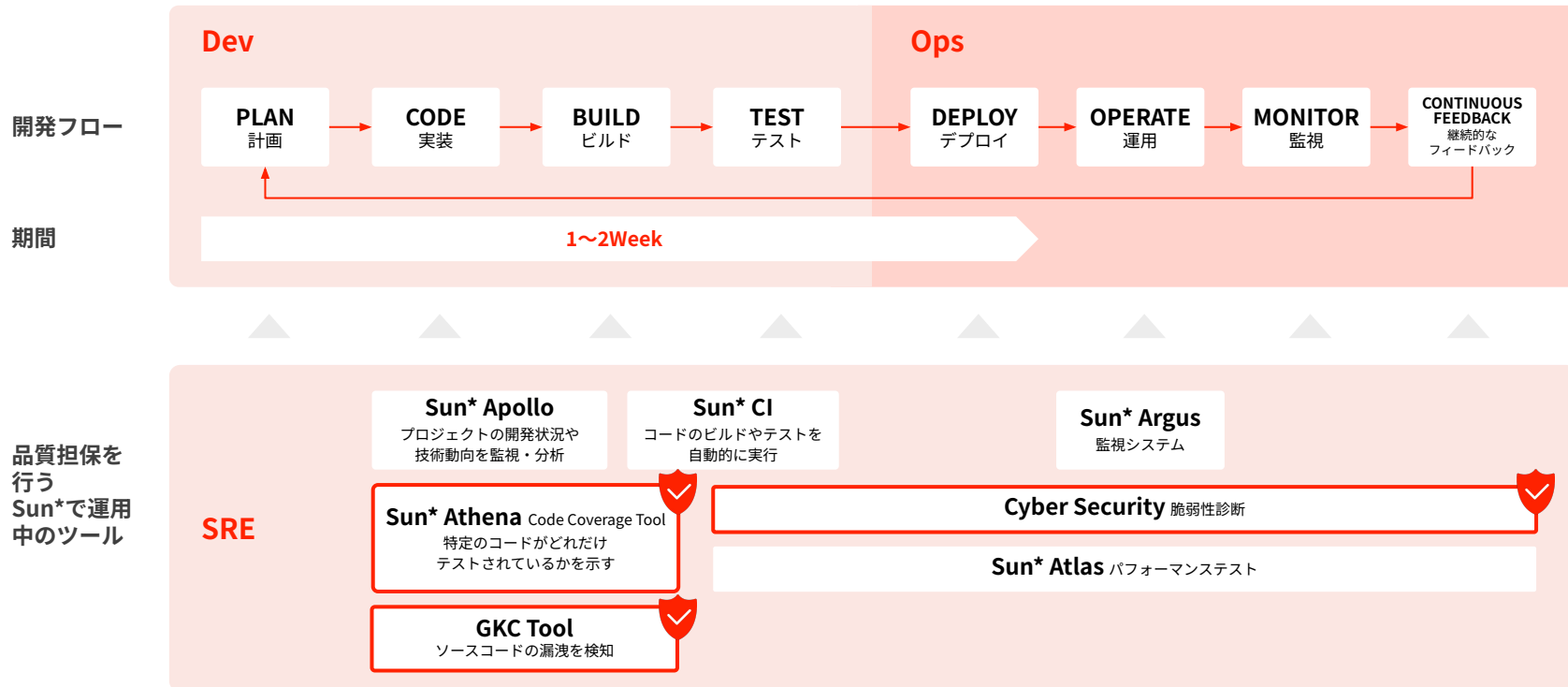
Sun*で運用しているDevOpsツール上での品質管理

サービスの「アップデート」「スピード」「質」をクライアントニーズに合わせて担保するために、Sun*でご支援しているサービスは、R&Dチームが立ち上げ運用しているDevOpsのツール上で管理されています。



セキュリティへの取り組み（DevSecOps）

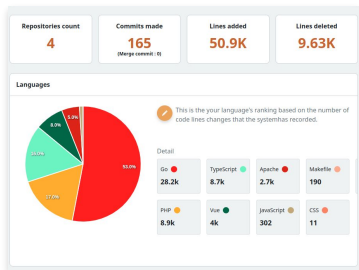
DevOps の原則にセキュリティを最初から組み込むことで（DevSecOps）、ソフトウェア開発ライフサイクル全体にわたってセキュリティを確保することを目的とした取り組みを積極的に行っています。



Sun*で運用しているDevOpsツール上での品質管理

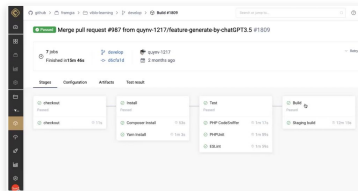
Sun* Apollo

プロジェクトの開発状況や
技術動向を監視・分析



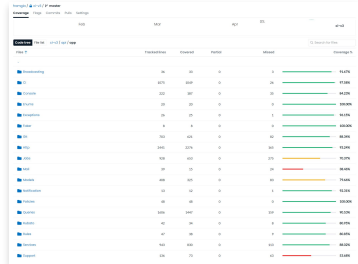
Sun* CI

コードのビルドやテスト、
セキュリティチェックを自動的に実行



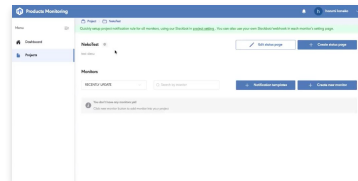
Sun* Athena Code Coverage Tool

特定のコードがどれだけ
テストされているかを示す



Sun* Argus

サイトが正常に動作しているか
プロダクトの監視システム



Sun*で運用しているDevOpsツール上での品質管理

Sun* Atlas

システムの信頼性、スケーラビリティ
効率性を実現する
パフォーマンステストツール

評価観点

- 様々なレベルのユーザートラフィックの処理
- ユーザーのリクエストに対する対応速度
- パフォーマンスの問題の早期検出とユーザー体験の向上

対応可能なテストの種類

スモークテスト、負荷テスト、ストレステスト、
スパイクテスト、ソークテスト（エンデュランス
テスト）

パフォーマンステスト単体でのご相談も承っています。

サービス資料

： https://lp.sun-asterisk.com/hubfs/pdf/Sun*_ATLAS_PerformanceTesting.pdf

性能テスト結果のサンプル



Sun*で運用しているDevOpsツール上での品質管理

侵入テストと脆弱性診断から得た評価に対して、開発チームに解決策を指示し、リスクを未然に防ぎます。

Cyber Security Test

スプリント単位で継続的に診断し、リリースまでの時間を短縮しながらセキュリティリスクを未然に防ぐ



ペネトレーションテスト (侵入テスト)

模擬攻撃を実施してセキュリティを評価し、攻撃者が悪用する可能性のある脆弱性を見つけます



脆弱性評価

CVSSなどを基準にしたチェック項目で、脆弱性の検出とリスク評価を実施します



開発チームへの 指導

ペネトレーションテストと脆弱性診断で発見したリスクに対して、具体的な解決策を指導します

その他、社内外で行っている活動



脅威ハンティング

バグハンティング、インシデント調査、フォレンジック（消去されたデータも対象に操作ログを解析）を含みます



セキュリティ監査

Sun*内部のセキュリティが基準に適合しているかを測定し、情報システム・セキュリティの体系的評価を行います

脆弱性診断テスト単体でのご相談も承っています。サービス資料：[Sun* AgileCyberSecurityTest.pdf](https://sun-asterisk.com/agile-cyber-security-test.pdf)

私たちが準拠している基準

EC Council



Offensive Security



International Cybersecurity Institute



獲得している認証



オープンウェブサイトセキュリティプロジェクト OWASP



オープンソースセキュリティテスト OSSTMM



ペイメントカード業界データセキュリティ基準 PCI-DSS



一般データ保護規則 GDPR

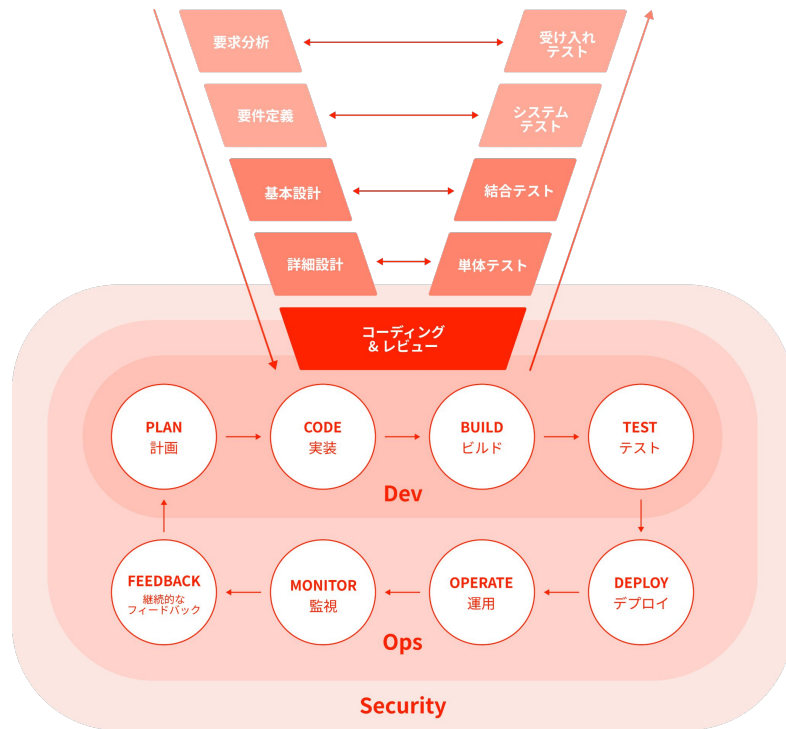
6. 開発プロセス品質

ソフトウェアの開発スキル(Dev)とシステム運用経験(Ops)の両方を持ち合わせた体制づくり

Sun*のDevOps

これまで築き上げてきた開発力を土台とし、事業・プロダクトを持続的に成長させるための運用・保守領域により注力することで、柔軟性、効率性を求めた短期間でのDevOpsのサイクルを実現しています。

またセキュリティ面も配慮することにより、DevSecOpsやSecurity(Secure) By Designを強く意識しています。

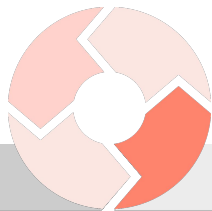
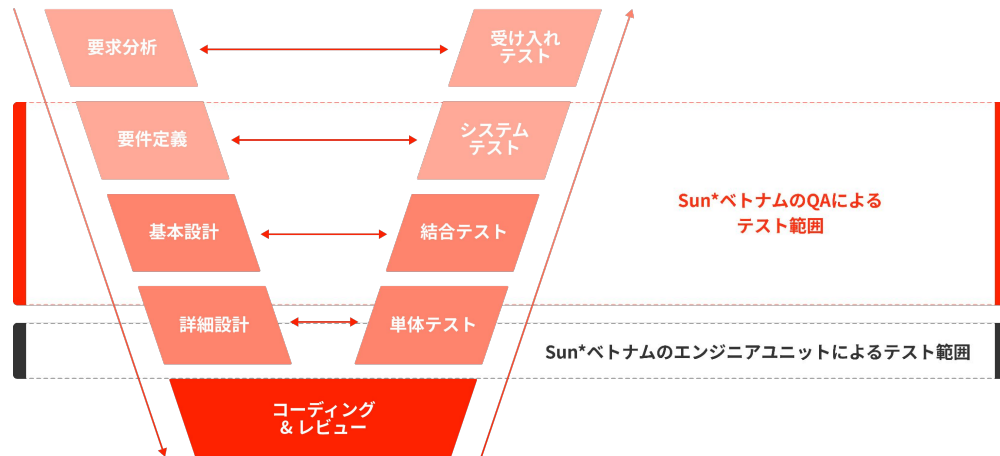


ソフトウェアの開発スキル(Dev)とシステム運用経験(Ops)の両方を持ち合わせた体制づくり

機能単位で小さくすばやく開発を繰り返し、ユーザーからのフィードバックやニーズを取り入れながらアップデートを繰り返す、アジャイルの思想を基本としています。

1つの開発サイクルでは、開発工程とテスト工程で各作業をリンクさせ、検証作業を効率よく実施するV字モデルを採用しています。

それにより、柔軟性・効率性を求めながらも確実な品質担保を可能にしています。



PLAN

DEPLOY

1~2 Week



コミュニケーション



プロダクト品質



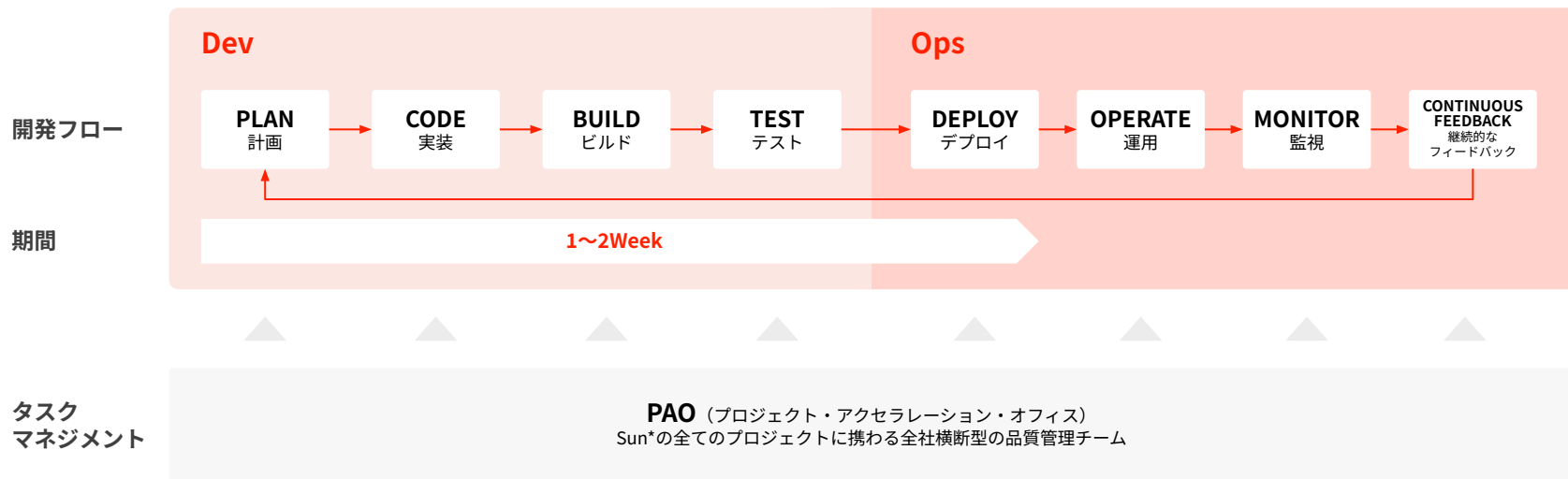
開発プロセス品質



人材・体制

品質管理チーム(PAO)によるDevOpsの持続的な開発品質の改善と向上

Sun*にはすべてのプロジェクトに横断的に関わり、DevOpsにおける「プロダクト品質」「DevOpsプロセス品質」「サービス品質」に対して、包括的にプロセスの整備、評価の整理、人材の教育を行っている品質管理チーム（PAO: プロジェクト・アクセラレーション・オフィス）を設置しています。



品質管理チーム(PAO)によるDevOpsの持続的な開発品質の改善と向上

DevOpsの持続的な開発品質の改善と向上のために、品質管理チーム(PAO)は以下の取り組みを行っています。



インシデントを未然に 防ぐモニタリング

全社共通の管理シートで全てのプロジェクトを監視。バグの発生数に応じて即時検証を行い、インシデントを未然に防ぎます。



開発品質に関する カスタマーサーベイ

開発の品質やオペレーションについて、クライアントに年2回の匿名サーベイを実施。結果を基に業務フロー等を改善しています。



品質均一化のための テンプレート作成

プロジェクトキックオフ用の資料や機能のアップデート内容を記載するリリースノートをテンプレート化。プロジェクト品質を均一化します。



開発品質維持のための 社内教育

実際の開発や業務で必要となるナレッジを社内で蓄積。恒久的な開発品質維持のため、社内教育を徹底しています。

PAO（プロジェクト・アクセラレーション・オフィス）

Sun*のすべてのプロジェクトに横断的に関わり、グローバル開発におけるコミュニケーションや品質の課題に対して、包括的にプロセスの整備、評価の整理、人材の教育を行っているチーム

運用管理作業の自動化・効率化のサポート

保守管理しやすいシステムやプロセスを構築することで、信頼性のあるシステムを持続的に開発できる体制づくりをご支援します。



業務の自動化

属人化している業務を適切なツールを導入し自動化することで、保守運用のプロセスを整えます。自動化ツールの適切な導入は業務を大幅に効率化し、システムの信頼性を向上させる役割を果たします。



サービス品質を 定量評価

SREでは「SLI(Service Level Indicator): サービスレベル指標」と「SLO(Service Level Objective)サービスレベル目標」によってシステムを計測管理。適切なサービス品質担保を実現します。



開発と保守運用 両視点での信頼性の 指標を導入

開発チームと保守運用チームは元々違う目標を設定します。しかしサービスの信頼性を担保するには共通の目標を設定しDevOpsのプロセスを推進する必要があります。信頼性の指標を設計し導入することで、DevOpsサイクルをより円滑に進めます。



インシデントへの 振り返りを行う 文化醸成

インシデント発生時の対応や再発防止策の検討と実行は非常に大切なアクションです。(ポストモテム)
この文化の定着を進めることで、プロダクト品質・プロセス品質そしてサービス品質の向上に繋がります。



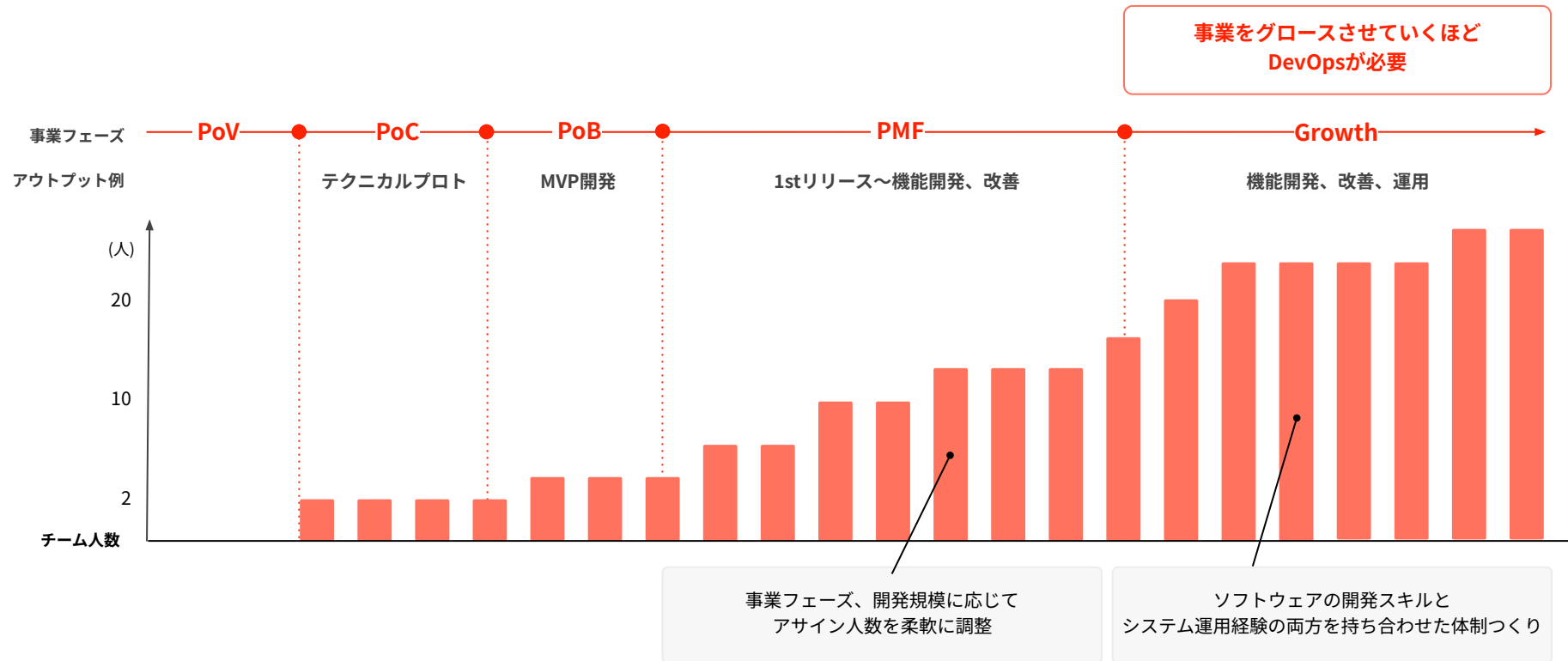
SRE経験者による 環境・チーム構築の サポート

Sun*にはCTOsと呼ばれるスタートアップでCTOを歴任してきたメンバーが複数人在籍しています。SREへの知見や経験を活かし、対象サービスのドメインの特性にあった環境・ツールの選定や設計をご支援します。

7. 人材・体制

事業フェーズに合わせた体制でご支援

業界・事業フェーズを問わず数多くのサービス開発～運用経験のあるDevOps人材を、事業・チームの状況に合わせてチームをつくり、ご支援します。



開発に関わる多種多様な人材でチームをつくる

貴社の開発体制において足りていないピースをSun*で補うことで、DevOpsを加速できるチームをつくることが可能です。

開発に携わるメンバー

1,200名以上

クライアント
開発チーム



Sun*

アカウントサポート : 契約やアサイン調整など、プロジェクト全体のサポート

PM

Project Management

プロジェクト全体の進行管理
・要件定義・仕様設計等の
業務を行う。

Japan

Vietnam

Philippine

BrSE

Bridge Software Engineer

日本側とベトナム開発チームとの情
報伝達やコミュニケーションのサ
ポートはもちろん、開発管理・仕様
設計・仕様書の翻訳・修正を
担当。
日本語検定 N2以上を取得。

Japan

Vietnam

Server-side
Engineer

サーバーサイドの仕様設計・機能実
装・単体テストを行う。
※Lead以上はコードレビューも担当

Japan

Vietnam

Philippine

Frontend
Engineer

フロントエンドの仕様設計・機能実
装・単体テストを行う。
※Lead以上はコードレビューも担当

Japan

Vietnam

Philippine

R&D

Research and Development

機械学習・ディープラーニング、ブ
ロックチェーン、サイバーセキュリ
ティなど最新技術の研究と独自プロ
ダクトの開発を行う。

Vietnam

CTOs

Chief Technology Officer

スタートアップでCTOを歴任してき
たメンバーが複数人在籍。経営とプ
ロダクト開発を紐付けながら、事業
づくりに伴走。

Japan

QA

Quality Assurance

ソフトウェアの品質保障を目的とし
た品質計画の立案や動作テスト、品
質管理を行う。
※Lead以上はコードレビューも担当

Vietnam

NativeApp
Engineer

スマートフォンアプリ(iOSや
Android)技術に関する開発を行う。

Japan

Vietnam

Infrastructure
Engineer

インフラ（サーバーやネットワーク
構築）技術に関する設計・開発を行
う。

Japan

Vietnam

Fullstack
Engineer

エンジニアが携わるべき開発などの
業務を一人ですべて行うことができ
るエンジニア。

Philippine

PSM Project Success Manager

ステークホルダーとコミュニケーションを行う、ベトナム側のプロジェクト責任者。

Vietnam

Designer

サービス・プロダクトの体験設計、UI設計を行う。

Japan

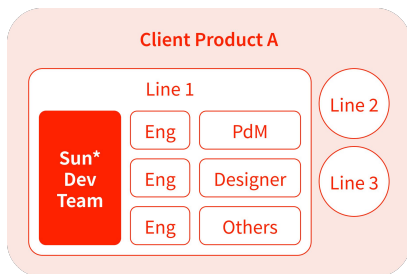
Vietnam

貴社のチーム状況に合わせて開発ラインをカスタマイズ

Sun* dev members into client team

ケース1

クライアントの開発チームの中に
Sun*開発メンバーを追加



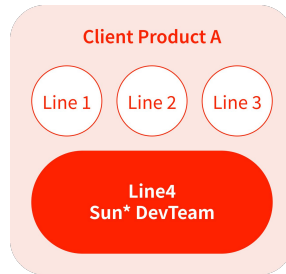
ニーズ

- 特定の職能が足りていない
- 新機能をスピード感を持って、ワンチームで開発したい

Sun* dev team(project team) into client product team

ケース2

貴社の開発プロジェクトの中に
Sun*の開発チームを追加



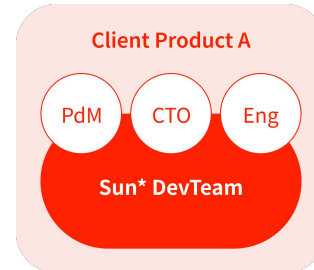
ニーズ

- 継続的にリソースを確保し、その時々で必要なサービス・機能を反映させていきたい
- 開発と運用でラインを分け、プロダクトのグロースを加速させたい

Client PdM with Sun* Dev Team

ケース3

貴社のプロジェクト推進者が主体となり、
Sun*の開発チームを牽引して
プロジェクトを遂行

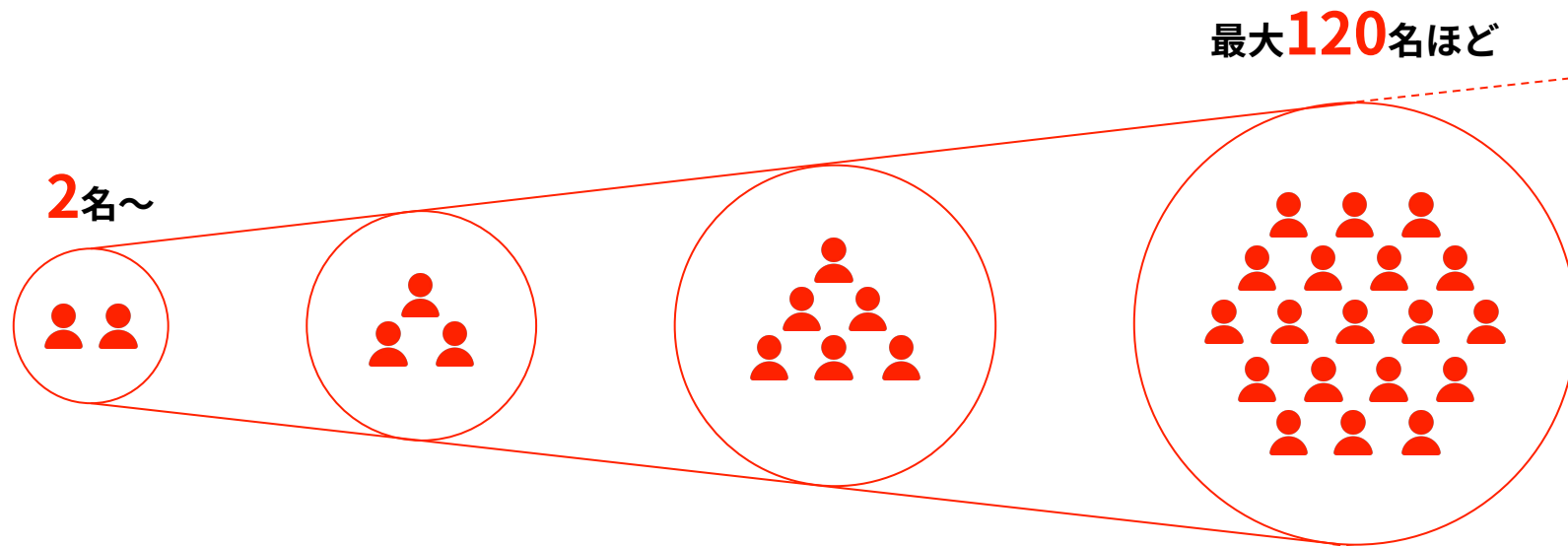


ニーズ

- 開発人員が足りない
- 開発方針の変更など、柔軟に対応できるチームを作りたい

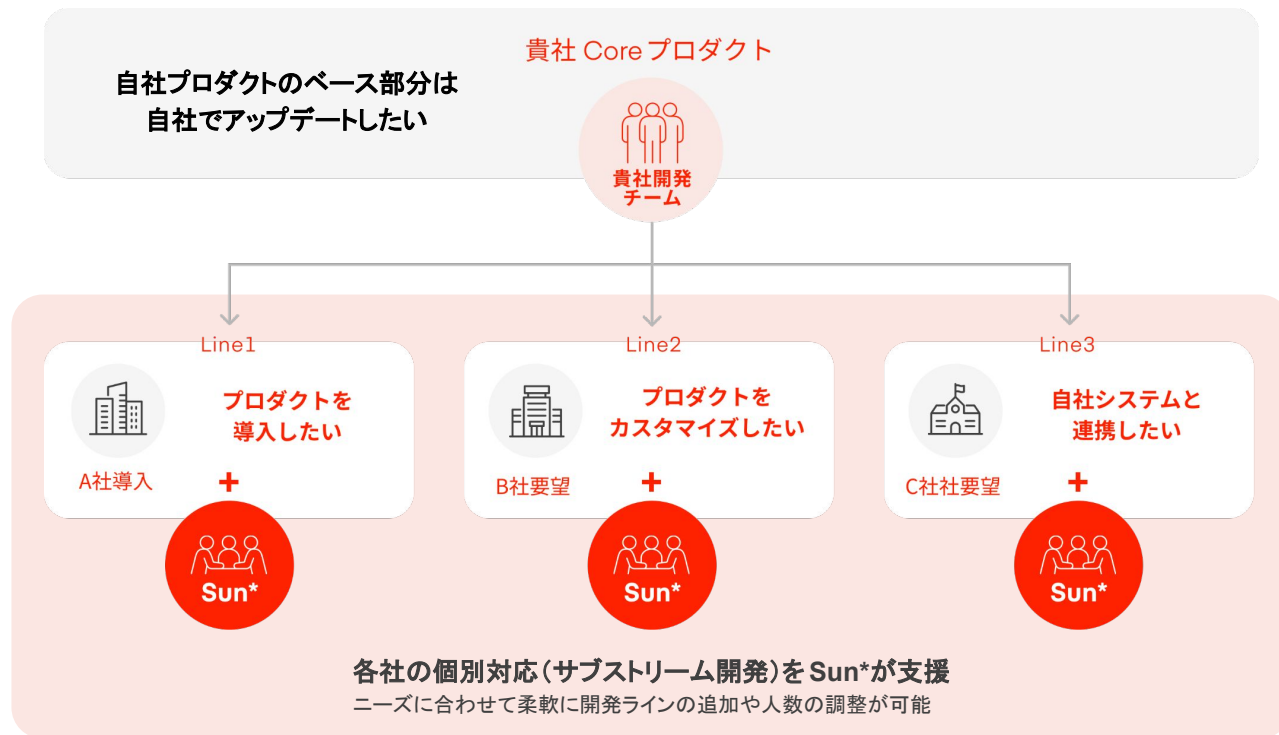
体制やグロース支援期間を拡張しながら、アジャイルに開発を進める

国内外合わせて1,200名以上の開発人材が在籍しているため、事業・チームの状況に合わせた体制の拡大・縮小を柔軟に提供できます。



最短1週間での体制の増強が可能。
縮小の場合も2ヵ月前までにご連絡いただければ対応可能。

貴社のトップラインをあげるサブストリーム開発を支援



サブストリーム開発: コアとなる「本流」のプロダクトに対して、サービス導入時のインテグレーション開発や個社対応などの「分流」にあたる開発

よくある課題

事業の売上を伸ばすために、個別開発やインテグレーション開発を行いたい、対応できるエンジニアがいない。

- ホワイトレーベルで提供したものを、エンドクライアント側でカスタマイズしたい
- カスタム機能を開発したい
- 既存システムと連携したい etc....



Sun* のソリューション

各社への追加のカスタマイズや導入を貴社と連携しながら Sun* が対応。プロダクトを柔軟に拡張・適応させることで、貴社の売上向上を支援いたします。

ミニマム体制例

日本人 PM + ベトナム開発チーム
(BrSE、リードエンジニア、リード QA)

日本人 PM が入るので要件定義も対応可能

8. 事例・実績

DX推進、新規事業開発支援事例：住信SBIネット銀行株式会社／日本航空株式会社



非航空領域における新しい収益モデルを開拓する「JALマイルライフ」

マイルと決済を一体化した会員サービス 「JALマイレージバンクアプリ」

約3,700万人の顧客基盤を活かした新規事業戦略「JALマイルライフ」を通じ、非航空領域での事業拡大と日常生活でのマイルの利用促進を図るJAL社。この一環として、金融商品の拡充やキャッシュレス化を推進する「JALマイレージバンクアプリ（JMBアプリ）」を住信SBIネット銀行が開発を受託し、Sun*も開発メンバーとして支援しました。JMBアプリは、JALPayの機能を拡充しつつ、航空券のご予約、特典航空券への交換、JAL Mallでのお買い物、ふるさと納税までアプリ内で簡単にアクセスでき、マイルを「ためる」「つかう」ことができます。今後もJMBアプリを通じて、個々のお客さまニーズを確実に捉え、日常生活においてマイルをためやすくし、非日常の特別な体験をお届けしていきます。

要件定義

外部設計

開発実装

エンタープライズ

航空業界

ISSUE クライアントの課題

マイレージを主軸にしたJALマイルライフの中核のアプリとして、既存の決済アプリの機能を継承しつつ、認証体系を統合し、導線、UIを最適化したい。6社のマルチベンダーが関わる難易度の高いプロジェクトで、各ベンダー間の円滑な意思疎通、異なるベンダーが開発したシステムやコンポーネントの品質、プロジェクト管理をリードしてくれるモバイルアプリの実装経験が豊富なパートナーが必要。

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

限られた納期の中、ベトナムの開発拠点をを中心に50人規模の体制を構築。要件定義では積極的に提案を行いながら迅速に開発を進め、予定よりも早くプロジェクトを完了。技術面においては、各ベンダーが開発したSDKの機能、性能、セキュリティ、ライセンス等を評価し、技術的整合性を保ちつつ統合してシームレスなシステムを構築。



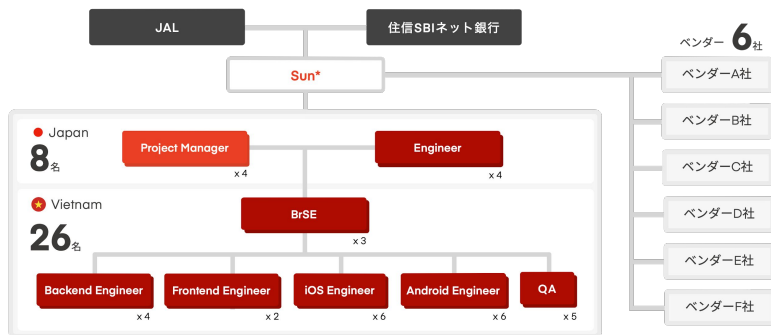
デジタル会員証がスマホの中に



便利になったJAL Pay機能



拡充されたマイル機能



DX推進、新規事業開発支援事例：日本音楽著作権協会（JASRAC）

著作権管理をDX化し音楽クリエイターがCreation Ecosystemに参画できる世界へ

ブロックチェーン技術を活用した 楽曲管理システム KENDRIX^{ケンドリックス}

日本音楽著作権協会(JASRAC)による改竄不可能なブロックチェーン技術を活用した存在 証明機能付き楽曲管理サービスをSun*で開発支援しました。音楽業界では楽曲制作から広報、マーケティングまでを個人で完結して行うDIYクリエイターが増えています。そして彼らは自身で著作物を守り、著作権利用料を徴収するために、著作権への理解が必要で、高いハードルとなっていました。KENDRIXはこの課題に対し、著作権の理解がなくても自身の楽曲を守り、著作権利用料を受け取れる仕組みとして誕生しました。

要件定義・仕様策定

UI/UXデザイン

設計

開発実装

インフラ構築

団体・連合会

音楽業界

知財

ISSUE クライアントの課題

1. ブロックチェーンを用いたサービス開発の実績と知見のあるパートナーと伴走したい
2. サービスアイデアを具現化するために仕様や設計書作成から支援してほしい
3. ユーザーの声が反映されたサービスにしたい
4. リリース後も機能拡張や継続的な支援をして欲しい

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

1. ブロックチェーンに精通したメンバーをアドバイザーとしてアサインし最大14人の開発体制で伴走
2. ペルソナと課題の設定、問いのデザインを通じ顧客とソリューションの解像度を上げ仕様を策定
3. ユーザーインタビューやPoC、MVPによる実証実験のプロセスから得たニーズをサービスに反映
4. リリース後も柔軟に体制を変更し追加の機能開発やサービス拡大に向けて継続的に支援



DX推進、事業開発支援事例：NTTビジネスソリューションズ

NTTグループ公式ビジネスチャット elgana（エルガナ）

ユーザー中心設計の共創でビジネスチャットサービスの可能性を広げる

NTTビジネスソリューションズは、情報通信システムの提案、構築、サポート等の事業を行う一方で、新規事業の創出にも注力されています。ビジネスチャットサービスelgana（エルガナ）は、国産で安心して利用できるチャットサービスとして2020年4月にサービスの提供を開始されました。ローンチから2年が経過し、ビジネスチャットの可能性をさらに広げるため、Sun*で開発を支援しています。

サービスデザイン

UI/UXデザイン

デザインシンキング

要件定義

基本設計

開発実装

電気通信

ISSUE クライアントの課題

1. 新規顧客の拡大に向け、優位性を再設計したい
2. プロダクト開発の文化形成やノウハウを自社に蓄積していきたい
3. デザインから開発まで一気通貫で支援できるパートナーと共創したい

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

1. ユーザー中心設計に即した調査と課題整理を行い体験をデザイン
2. デザイン思考やDevOpsなど新規事業や開発に関する知見を共有
3. ビジネスデザインから開発実装までデザイナーとエンジニアリソースを生かした体制を提案

RESULT 取り組みの成果

1. ビジネスデザインを再設計したことで目指すべき方向性が明確になり、機能開発のフェーズへ
2. 開発だけでなく、ブランドアイデンティティを再定義するプロジェクトが始動するなど、新しい取り組みが次々と広がっている



Sun*と共に進めたビジネスの再設計

01 | 概要

- ・プロジェクトスケジュール
- ・プロジェクトの目的
- ・リサーチ対象の選定
- ・初期ペルソナ

02 | リサーチ

- ・インタビュー対象者
- ・インタビュー結果
- ・リサーチからのインサイト

03 | 学び・気づきの統合

- ・注力セグメントの選定
- ・ペルソナブラッシュアップ
- ・共感マップ
- ・カスタマージャーニーマップ
- ・機会領域の選定

04 | アイディエーション

- ・How Might We - 問いの作成
- ・アイディエーションワークショップ
- ・アイデアの選定

05 | ストーリーテリング

- ・ソリューションコンセプト
- ・ToBeユーザージャーニーマップ
- ・ユーザーストーリー
- ・ビジュアルプロトタイプ

DX推進事例：株式会社日産カーレンタルソリューション

予約から返却まで、ひとつのアプリで完結する日産レンタカー初の公式アプリ

これまでにないストレスフリーで 快適なレンタカー体験をアプリで提供



ISSUE クライアントの課題

ベンダー6社が関与する複雑な仕組み

ライフスタイルの変化に伴い市場が拡大するレンタカー業界。無人店舗やセルフチェックインを活用し、さらなるシェア拡大を図りアプリの導入を決意。連携する現行システム群を含めベンダー6社が関与する複雑な仕組みで、社内では開発プロジェクトを推進するプロダクトオーナー体制を賄いきれないという課題をお持ちでした。

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

プロダクトオーナーサポートを中心に総勢25名の開発チーム

同社にとっては初めてのアプリ開発だったため、Sun*からは「プロダクトオーナーサポート」をアサイン。仕様の変更に柔軟に対応できるようアジャイルのプラクティスを活用し、短期間で課題発見のサイクルを回しながら、開発手法や体制を最適化。ベトナムと日本拠点あわせて総勢25名の開発チームで、各ベンダーとの調整から要件定義、リリースまでをクライアントとともに伴走。

RESULT 開発支援の成果

アジャイルのプラクティスを活用し8ヶ月でリリース

ファーストプロダクトのリリースに掛かった期間は8ヶ月。セルフチェックイン機能など大手レンタカー会社として初となる機能が搭載されたアプリとしてリリースされました。難易度の高い開発でしたが、課題に対して柔軟に開発体制を拡充しながら、お客様の熱意と既存ベンダーからの協力を得られたことで、当初のスケジュール通りにリリースできました。今後も機能拡張に向けて継続的に開発を支援して参ります。

DX推進、新規事業開発支援事例：Ultra FreakOut株式会社

日本最大のタクシーサイネージメディアの配信基盤を拡張

デジタルサイネージ配信を一元管理
する次世代DOOHシステムMaroon^{マルーン}

全国32都道府県の67,000台以上に展開される日本最大のタクシーサイネージメディア「Tokyo Prime」に技術提供するUltra FreakOut社。その配信基盤を活用し事業をさらにスケールアウトさせるために、次世代DOOH（デジタル屋外広告）配信システム Maroonを企画。Sun *がPoCからサービスローンチをBTCで最適なチームを作り伴走しました。

Maroonは、同社のノウハウを活かし、広告だけでなく自社販促、公共交通機関などのコンテンツ配信にも対応。複数デバイスへの配信をクラウドで一元管理し、初心者でも使いやすいUI/UXで直感的操作を実現しました。今後も事業の成長に向けて継続的な支援を続けて参ります。

UI/UXデザイン 基本設計 開発実装 インフラ構築 DevOps スタートアップ 広告配信

ISSUE クライアントの課題

これまで広告の入稿システムを手動で管理しており、事業拡大を視野にCMS化し管理を効率化したい。既存システムは自社で開発をしたが、機能拡張のためのエンジニア、デザイナーのリソースが不足しており、外部パートナーとの連携にも不安があった。PoCを実施し課題検証をした上で、既存システムと連携するサービスを段階的にリリースしていくために、一気通貫で伴走できるパートナーを探していた。

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

PoCでは、1ヶ月の短期間でUIのモックアップを作成。画面デザインと並行して、競合調査や体験設計、ロードマップ、機能一覧を作成。クライアントと開発すべきもののイメージや既存APIの仕様を確認しながらデザインに反映。コラボレーションデザインツールのFigmaやMiroを活用し、デザインだけでなく要件も集約することで迅速な意思決定を行い、認識のずれを防ぎながらプロジェクトを遂行していった。



本サービス開発の主な流れ



DX推進、新規事業開発支援事例：株式会社Finatext

保険業界の次世代ビジネスとして注目を集めるデジタル保険

保険ビジネスのDXを後押しする SaaS型の保険基幹システム Inspire

インスパイア

50兆円とも言われる成熟した日本の保険市場で、次世代ビジネスを探索するテーマとして注目を集めるデジタル保険。リテール金融サービスの開発を行うFinatextホールディングスの子会社スタートアップ、Finatext社が手掛けるSaaS型デジタル保険システム「Inspire」は、様々な保険商品をWebやスマホアプリに簡単に組み込み、販売できるクラウドサービスです。従来のシステム開発と比べコストを大幅に削減し、数週間で保険の提供を開始のできる革新的なシステム。需要の波にあわせた柔軟な開発体制構築と開発品質の維持という課題に対し、Sun*で専属の開発チームを構築。今後も開発だけでなくビジネス成長を伴走していきたいと考えています。

基本設計

開発実装

PM / PMO支援

DevOps

スタートアップ

保険

ISSUE クライアントの課題

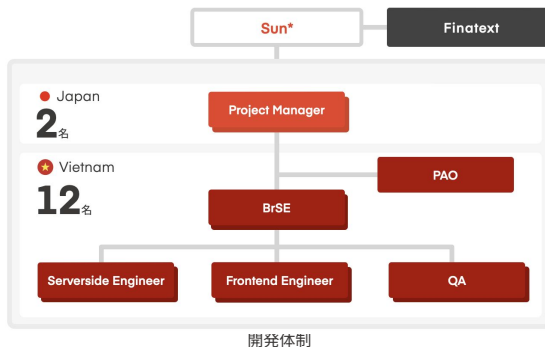
独自のプロダクトを各企業向けにカスタマイズして展開しているため、Inspireの需要が増加する中、需要の変動に対応できる柔軟な開発体制の構築と開発品質の維持が課題となっていた。このため、柔軟に体制を組み、高い開発品質を保持できる外部パートナーを探していた。

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

日本側にPMをアサインし、ベトナムで12名の開発体制を構築。当初は開発担当として要望のあった機能を開発しながら、積極的に課題解決の提案を行うことで、開発力を評価いただく。その結果、10以上のプロジェクトで本格的なPJ支援をさせていただくようになり、案件相談も増加している。

Sun*

FINATEXT



クライアントの声

『Sun*を選んだ理由は、開発品質の高さとパートナーとしての信頼性です。Inspireを早期にキャッチアップし、トラブルなくプロジェクトを進行できました。開発中の気付きを積極的に共有いただいたことがプロアクティブな問題解決に繋がっています。また、突発的な開発への対応や、弊社のビジネスを考慮した改善提案もいただき、パートナーとして全幅の信頼を寄せています。』

DX推進、新規事業開発支援事例：wevnal株式会社



Microsoft社のAzure OpenAI Serviceで提供が開始されたChatGPTを活用

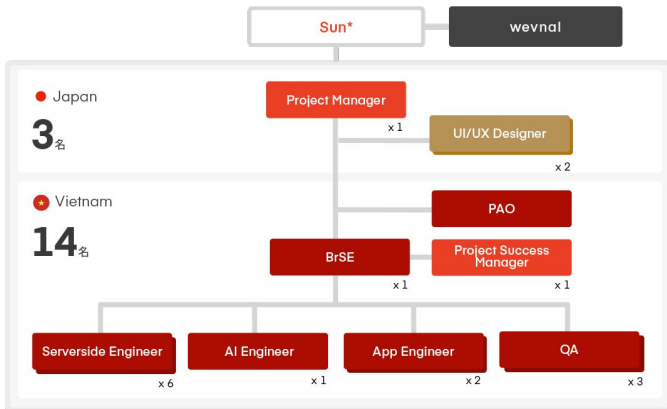
企業向けにセキュリティを強化したChatGPTによるAIを実装

2023年、OPEN AI社によるChatGPTが世界に一気に浸透し、企業においてAIを活用していく必要性が日々増えています。BOTCHAN（ボッチャン）AIは、企業がAIを活用するうえで懸念されている情報セキュリティにも配慮された設計で、社内データを参照し、企業固有の質問に対して、ユーザーの疑問をインタラクティブなコミュニケーションで解決出来ます。さらに学習データの管理やデータ分析も可能で、オペレーターの負担軽減も実現できます。Sun*では2020年3月から同社の主力事業の開発をベトナムの専属チームで支援しています。

チーム提案型開発

CLIENT VOICE クライアントの声

『難易度の高いAIを含む6つのAIをSun*のメンバーが開発しています。AzureのChatGPTの組み込みを、日本の企業としていち早く実現しました。ベトナムの開発会社としては、Azure OpenAI Serviceのナレッジを最も溜めていると思います。』



チーム体制例(人数はステージに応じて柔軟に変更)



企業向けAIソリューションとして強化されたセキュリティ機能

プロンプト インジェクション対策	ユーザー入力を厳密に検証し、不正なコマンドの実行を防止。入力チェックとエスケープ処理を適用して安全な操作を保証。
コンテンツフィルタリング	事前に定義された禁止ワードリストを用いて、生成された文章に含まれる不適切な表現を検出し、適切に対処。
ハルシネーション対策	AIが生成する誤った情報を検出・修正。モデルのトレーニングや出力監視を強化し、正確さと信頼性を向上させる。

クライアントの声



海外のメンバーでやったプロジェクトの中で最高の出来

Sun*は教育がしっかりとされていて、当社の新卒社員もチームの一員としてレクチャーしてくれたのは印象深いです。開発したサービスは、過去オフショア含めて海外のメンバーでやったプロジェクトの中で最高の出来。品質レベルもさることながら、拡張設計も考慮されているのでリファクタリングや、ビジネススケールに合わせてスケールを拡大できる設計がしっかりできています。

テモナ株式会社



提案も積極的で当事者意識のあるチーム

創業間もないスタートアップでアイデアを実現するエンジニアが採用できない課題があり、短期間でプロダクトアウトまで持っていけるパートナーを探していました。日本人のPM、テックリード3人と、ベトナム側のエンジニア6人の体制で、要件定義を含めヶ月でサービスをローンチ。当事者意識のあるチームで一体感が生まれ、プロダクトのクオリティが高まりました。

株式会社ZENKIGEN



とにかくエンジニアが優秀

このプロジェクトではじめてRailsを使ったのですが、Sun*のエンジニアから参考になるアドバイスをたくさんもらえ、これはもう発注先というよりも一緒に開発メンバーなんだな、という感覚を持ってました。あと、とにかくエンジニアが優秀ですんなりプロジェクトがたちあがり、「ああ、こんなにできるんだ」と思って開発スタイルを変えていった経緯があります。

株式会社ソニー・グローバルエデュケーション



伴走していくためのレールを作ってくれた

はじめて立ち上げるサービスで難易度なども判断したうえでアドバイスをもらいました。Sun*は様々な業界でコンサルティングや開発実績があるので、これまでの経験からLPの資産を活用するためのベストなサービス」という提案を得られたのは、非常にありがたかったです。サービスの立上げ、グロースをやっていくうえで「伴走していくためのレール」を作ってくれました。

株式会社モノフル



並走してくれるIT戦略パートナー

Sun*は、弊社が重視していた「並走してくれるIT戦略パートナー」の可能性が高いと感じられました。今回のサービス展開について、ブランディング、オーディエンス、拡張機能、新たな事業モデル、解析データからの発展といったつの方向性があるとご提案をいただけたのは、Sierや受託開発会社にはないもので、まさに私たちが求めていたIT戦略パートナーのイメージでした。

株式会社エスエスケイ



共にサービスを作るひとつのチーム

Sun*とMFという別会社というよりは、サービスを作る一つのチームとして取り組んでいます。どうしてもMFがSun*のお客さんだよ」という姿勢でやってしまうと、みんなMFの方を向いて仕事をすることになるのでいいものが出来上がらないと思うんです。「僕たちはひとつのチームで、その先のユーザーにサービスを届けていくんだよ」という意識を持ち続けています。

株式会社マネーフワード

9. Q&A

Q	他社との違いは何ですか？
A	まず、開発プロセスにおいて、スタートアップの開発に特化したメンバーが多く在籍しており、ウォーターフォール型ではなくアジャイルに開発を進めるスタンスを取っています。仕様書通りに作るのではなく、プロダクトの成功を目指して何をすべきかという改善提案を積極的に行う姿勢が特徴です。 次に、ベトナムでのブランディングにおいて、Sun*が非常に強い存在感を示しています。日本のQiitaのようなエンジニアコミュニティをベトナムで構築し、地域のエンジニア文化の形成に一役買っているという実績があります。 さらに、人材面でも他社との差別化を図っています。毎月多くの応募に対し優秀なエンジニアが集まりやすく、それが開発力の強化につながっています。 これらの複合的な要素が、当社の開発体制や文化を他社と一線を画するものにしています。
Q	運用保守（24/365）の対応可能ですか？
A	基本的には実施していませんが、パートナー企業と連携することでより幅広い解決策が提案可能になります。また、当社のSREチームが24時間365日体制を築かなくても良い効率的なシステムを提案することもございます。 このような提案により、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供できるよう努めております。

Q	最小体制について教えてください
A	最小体制は、2人程度から構成されます。Sun*の特徴として、エンジニア3名に対して1名のQAを配置するようにしています。ベトナムのエンジニア文化ではテストの実施が一般的ではないため、品質の担保にはQAの役割が極めて重要となります。当社のQAは、単なるテスターではなく、上流設計の段階からプロジェクトに参加します。これによって、初期段階からテスト計画を立てることが可能となり、全体の品質向上に貢献しています。
Q	コミュニケーションに不安があります
A	開発の現場においては、言語や文化の違いに関わらず、会話によるコミュニケーションが必ずしもスムーズに進行するわけではありません。日本人同士でも誤解や不明確な点が生じることがあるため、会話だけではなく、それを補完する具体的なアプローチが重要となります。 Sun*では、基本設計段階で画面仕様書や設計書など、イメージと仕様がセットになったドキュメントの作成を不可欠と考えています。このようなドキュメントは、言葉だけでは伝えきれない部分を明確にする役割を果たします。 さらに、内容が適切に整理されていれば、個別にドキュメントを管理する必要はありません。チケット上での管理など、効率的な手段を用いることが可能です。このような体制によって、コミュニケーションの障壁を最小限にし、開発プロジェクトを成功へと導いています。

Q	チームのコミュニケーション方法について
A	プロジェクトの特性やチームのニーズに応じて、最適な方法を採用しております。例えば、Slackでのコミュニケーションの際には、言語の障壁を取り除くために翻訳アプリを使用することもございます。このような工夫により、異なる言語を話すメンバー間でも円滑にコミュニケーションを図ることができます。 GitHubに関しては、英語でのレビューを基本としております。これにより、国際的なプロジェクトでの共同作業もスムーズに進めることができる体制を整えております。コミュニケーション方法は、プロジェクトの目的やチームの構成に合わせて柔軟に対応しております。
Q	Sun*で開発したソースコードの著作権について
A	Sun*が開発するソースコードの著作権については、クライアント様に帰属いたします。プロジェクトを進めるにあたり、ご意見や要望をお寄せいただくクライアント様のもとで、最適なソリューションを共同で創り上げる過程が重要と考えております。したがって、その成果であるソースコードの著作権もクライアント様のものとする方針を採っております。

Q	外部依存しすぎるとブラックボックス化するので、どこまで外部委託をすべきなのか、割合を悩んでいる
A	私たちの開発プロセスでは、透明性とコミュニケーションを重視しています。スクラムのようなアジャイル開発手法を採用することで、開発プロセスを柔軟で迅速に進められます。また、クライアントにもスクラムセモニーやレトロスペクティブに積極的に参加いただくことで、プロジェクトの進行状況や問題点を随時共有することが可能です。開発の各ステージでクライアントからの意見やフィードバックを直接反映させることで、ブラックボックス化することなく、共同でプロジェクトを推進することが可能です。 また、明確なドキュメンテーションと定期的なレビューも導入することで、開発の全過程における透明性を一層高めることができます。このように、外部依存の問題を適切に管理する体制を整えることで、ブラックボックス化のリスクを最小限に抑えることが可能です。
Q	BrSEの日本語力はどれくらいか？
A	BrSEとComtor*のレベルは基本的にN2以上を取得しており、バーバルはもちろん書類でのインプット・アウトプットともに問題なく行えます。 *Comtor: 資料の翻訳や会議の通訳、またBrSE業務のサポートを担当

Thank you!